

令和4年度
第2回高知県地域学校協働活動推進委員会

【日時】 令和5年2月7日（火）9：30～11：30

【場所】 高知県庁西庁舎教育委員室

令和4年度第2回高知県地域学校協働活動推進委員会

【日時】令和5年2月7日（火）9：30～11：30

【場所】高知県庁西庁舎2F 教育委員室

次 第

1. 開会 9：30～

挨拶 高知県地域学校協働活動推進委員会委員長

2. 議事 9：40～

令和4年度事業報告及び令和5年度事業計画について

- ・ 推進委員会及び研修会等の実績報告（概要）、事業計画 【資料1、4】
- ・ 関係各課 事業報告 【資料2、別添資料】
- ・ 各市町村別事業実績及び実施予定一覧（R4、R5） 【資料3、5】
- ・ NPO法人高知県生涯学習支援センター事業報告 【資料6】

3. 協議 10：30～

テーマ 「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進に向けて」
～学校・地域・家庭の連携に向けた市町村の役割～

4. 閉会 11：30

高知県地域学校協働活動推進委員会 委員名簿

氏名	所属・役職等	備考
齊藤 雅洋	高知大学地域協働学部准教授	
久寿 久美子	津野町教育長	
黒瀬 忠行	佐川町立黒岩小学校長	
小川 真悟	高知市立春野中学校長	
前田 学浩	南国市立稲生小学校支援地域本部地域教育協議会委員	
福本 かおり	どいっ子児童クラブ放課後児童支援員	
川崎 健太郎	特定非営利活動法人はらから代表理事	
土居 寿美子	高知市港孕子育て支援センター「いるかひろば」理事長	
寺尾 隆太	日高村教育委員会社会教育係 主幹	
廣末 ゆか	高知学園短期大学看護学科 教授（特別任用職員）	

（敬称略、順不同）

（任期：就任日（承諾日）～令和5年3月31日）

(事務局)

氏名	所属・役職等	備考
清久 博文	高知県教育委員会事務局学校安全対策課課長補佐	
田邊 裕貴	高知県教育委員会事務局小中学校課教育支援第二担当チーフ	
遠山 馨	高知県教育委員会事務局小中学校課総務担当チーフ	
河野 佳奈	高知県教育委員会事務局保健体育課指導主事	
池本 真奈	高知県教育委員会事務局保健体育課主幹	
原 貴	高知県教育委員会事務局生涯学習課課長	
吉岡 栄作	高知県教育委員会事務局生涯学習課課長補佐	
吉田 幹和	高知県教育委員会事務局生涯学習課地域学校協働支援担当チーフ	
澁谷 具恵	高知県教育委員会事務局生涯学習課主任社会教育主事	
島村 裕人	高知県教育委員会事務局生涯学習課主任社会教育主事	
山口 絵里奈	高知県教育委員会事務局生涯学習課主任社会教育主事	
山中 太一	高知県教育委員会事務局生涯学習課社会教育主事	
田岡 大典	高知県教育委員会事務局生涯学習課主幹	
浜渦 加奈子	高知県教育委員会事務局生涯学習課主査	
岡本 美月	高知県教育委員会事務局生涯学習課主査	
木村 大作	高知県教育委員会事務局生涯学習課指導主事(学校地域連携推進担当)	
田村 将宏	東部教育事務所指導主事	
井上 僚	東部教育事務所主任社会教育主事	
久万 桜	中部教育事務所指導主事	
濱本 智子	中部教育事務所主任社会教育主事	
藤田 望美	中部教育事務所主任社会教育主事	
高橋 大輔	西部教育事務所主任社会教育主事	
勝賀瀬 泰司	NPO 法人高知県生涯学習支援センター「学び場人材バンク」	

配席図

齊藤委員長

黒瀬委員

寺尾委員

福本委員

土居委員

久寿委員

前田委員

廣末委員

東部教育
事務所

東部教育
事務所

中部教育
事務所

中部教育
事務所

中部教育
事務所

西部教育
事務所

高知市

併
論

母
咄
猫

小中学校課

生涯学習課

保健体育課

生涯学習課

NPO法人高知県生涯
学習支援センター

学校安全
対策課

生涯学習課

入
口

高知県地域学校協働活動推進委員会設置要綱

(目的)

第1条 地域住民等の参画による地域の実情に応じた取組を有機的に組み合わせて、学校に対する多様な協力活動や、学習活動等を通じて地域のつながり・絆を強化し、地域の活性化を図る取組、放課後等に子どもたちの安心安全な活動場所を確保し学習や様々な体験・交流活動の機会を提供する放課後等支援、保護者への学習機会の提供や相談対応などの家庭教育支援等、教育支援活動等の総合的な在り方を検討することを目的に、高知県地域学校協働活動推進委員会（以下「推進委員会」という。）を設置する。

(事業)

第2条 推進委員会は、次に掲げる事項を協議する。

- (1) 教育支援活動の実施方針に関すること。
- (2) 安全管理方策や広報活動方策の検討・策定に関すること。
- (3) 研修の企画に関すること。
- (4) 事業の検証・評価に関すること。
- (5) その他、事業を円滑に実施するために必要な事項。

(組織)

第3条 推進委員会は、10名以内で組織し、次に掲げる者による。

- (1) 行政関係者
- (2) 学校関係者
- (3) 社会教育関係者
- (4) 学識経験者
- (5) その他 本活動推進のために必要と思われる者

(任期)

第4条 委員の任期は、就任の日から当該年度末日までとする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第5条 推進委員会には、委員長1名、副委員長1名を置き、それぞれ委員の互選によって定める。

- 2 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。
- 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は委員長が欠けた場合は、その職務を代理する。

(会議)

第6条 推進委員会の会議は、委員長が招集する。

- 2 委員会の会議の議長は、委員長が行う。

(事務局)

第7条 推進委員会の事務局は、高知県教育委員会事務局生涯学習課に置き、事務局長は、生涯学習課長をもって充てる。事務局に関し、必要な事項は事務局長が定める。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、推進委員会の運営について必要な事項は委員長が定める。

附則

この要綱は、平成24年5月8日から施行する。

附則

この要綱は、平成25年5月22日から施行する。

附則

この要綱は、平成29年10月23日から施行する。

資 料

- 資料1 令和4年度高知県地域学校協働活動推進委員会及び研修会等実績報告（概要）・・・P. 1～P. 4
- 資料2 関係各課 事業報告
小中学校課・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P. 5～P. 9
保健体育課・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P. 10～P. 14
学校安全対策課・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・別添資料
- 資料3 令和4年度事業別市町村別事業実績一覧・・・・・・・・・・・・・・・・P. 15
- 資料4 令和5年度高知県地域学校協働活動推進委員会及び研修会等の年間事業計画・P. 16 ～P. 17
- 資料5 令和5年度事業別市町村別事業実施予定一覧・・・・・・・・・・・・・・・・P. 18
- 資料6 NPO法人高知県生涯学習支援センター事業報告・・・・・・・・・・・・P. 19～P. 20

令和4年度高知県地域学校協働活動推進委員会及び研修会等実績報告(概要)

資料1

1 推進委員会の実施

- 第1回
【開催日】令和4年11月11日
【内容】令和3年度実績報告、令和4年度中間報告等
- 第2回
【開催日】令和5年2月7日
【内容】令和4年度事業報告(実績見込)、令和5年度事業計画等

2 研修会等

内容	研修名	日時	会場	内容	講師名	参加人数	満足度	成果	課題と今後の方向性
(1) 全体研修会、ブロック別研修会及び地域コーディネーター研修会	高知県地域学校協働活動研修会(全体研修会)	令和4年7月14日	土佐市複合文化施設 つな一で	<p>[実践発表及び質疑]</p> <p>岡林 康雄 氏 (いの町立伊野小学校長・伊野小学校地域学校協働本部)</p> <p>田村 知代 氏 (いの町立伊野小学教諭・伊野小学校地域学校協働本部)</p> <p>上村 安和 氏 (香美市立大新中学校長・物部地域学校協働本部)</p> <p>森本 ちづ 氏 (地域学校協働活動推進員・物部地域学校協働本部)</p> <p>[講演及び講評] 演題「私がコミュニティ・スクールを選んだ理由」 非常勤講師 [グループによる情報交換]</p> <p>講師 皆川 雅仁 氏 (秋田県生涯学習センター社会教育主事 秋田大学)</p>		95名	86%	<p>【地域学校協働本部事業】 ・地域学校協働本部設置率 96.4%</p> <p>・地域の様々な人材が連携・協働し、オンラインを活用しての情報発信やボランティアへの連絡の実施等、「Withコロナ」に対応しながら協働活動を実施する学校が増えてきている。</p> <p>・高知県版地域学校協働本部の各市町村設置計画以上の91.6%で取組実施。厳しい環境にある子どもたちの地域による見守りの効果を実感している学校が増加した。</p>	<p>【地域学校協働本部事業】 ・市町村や学校によって活動内容に差がある。今年度作成の協働活動事例集を活用し、他本部の活動事例を自本部での実践に結びつけられるように支援する。</p> <p>・コロナ禍における活動の工夫や働き方改革を踏まえた活動内容を周知することで協働活動の充実を図る。</p> <p>・コミュニティ・スクールとの一体的な推進に向け、育てたい子どもの姿を共有し、活動の目的や必要性を明確にした協働活動を展開していくことで、社会に開かれた教育課程の実現につなげていく。そのための核となる、市町村教育委員会とさらなる連携を図り、支援方法等を検討していく。また、市町村担当者向けの研修についても検討していく。</p>
	高知県地域学校協働活動ブロック別研修会	令和5年2月27日 令和4年10月27日 令和5年1月26日 令和4年1月30日	東部会場:安田町文化センター 中部会場:中土佐町立大野見小・中学校 西部会場:大月町農村環境改善センター 高知市会場:高知市たかじょう庁舎					<p>・コロナ禍での見守り活動や学習支援が、不安を抱える子どもたちの心の安定につながった。また、民生委員・児童委員と家庭がつながることで、学校との情報共有がより円滑になり、継続的支援につながっている。</p> <p>・地域学校協働活動研修会(全体研・ブロック別)や地域コーディネーター研修会等の継続的実施により協働活動の意義や取組についての理解が深まってきている。</p>	<p>・地域コーディネーターの確保・育成。地域コーディネーターの課題意識に沿った研修内容を検討し、コーディネーターの横のつながりの強化を図りながら地域との連携・協働体制の推進に活かしていく。</p>
	高知県地域コーディネーター研修会(全3回)	令和4年10月18日 令和4年10月20日 令和4年10月21日	第1回:いの町総合保健福祉センター 第2回:黒潮町役場本庁 第3回:安田町文化センター	<p>[実践発表及び質疑]</p> <p>大崎 健 氏 (地域学校協働活動推進員・高岡中学校地域学校協働本部)</p> <p>[話題提供及び講評] 内容「子どもの未来のために～もともと地域と学校を連携・協働させるために熟議を体験してみよう～」</p> <p>[グループによる熟議体験・発表及びまとめ]</p>	講師 竹原 和泉 代表(NPO法人まちと学校のみらい)	50名 25名 34名	85% 85% 91%		
	高知県社会教育実践交流会	令和5年1月21日	土佐市複合文化施設 つな一で	<p>【記念講演】 「50年で出来た事、出来なかった事」</p> <p>◆インタビュー・ダイアローグ</p> <p>◆実践発表 発表①「復活(?)劇団高知家青年団の歩み」</p> <p>発表②「特別な「誰か」「何か」に頼らないまちの活性化～室戸市佐喜浜商店街における青空マルシェ「さきはまびより」～</p> <p>発表③「地域とともに～地域を愛する子どもの育成～」</p>	講師 東谷 望史 氏 登壇者 東谷 望史 氏 インタビュアー 高知県青年団協議会 林田 翔平 氏 高知県連合婦人会 会長 山下 福恵 氏 高知県小中学校PTA連合会 会長 岡林 拓也 氏 高知県青年団協議会 理事 森岡 千晴 氏 特定非営利活動法人佐喜浜元気プロジェクト 理事長 徳増 千里 氏 四万十町立米奥小学校長 中越 あかね 氏	・実行委員 R3:5名→R4:5名 ・参加者数 R3:97名→R4:102名 ・県内参加市町村数 R3:15→R4:17	98%	<p>【高知県社会教育実践交流会】 ・参加者の中には、他の参加者や講師、実践発表者などつながることで、新しい取組を企画するなど、活動の幅の拡がりにつながっている。</p> <p>・社会教育に携わる個人や団体が集まる場において、地域学校協働活動の取組の発表を行うことで、活動を浸透させることにつながっている。</p>	<p>【高知県社会教育実践交流会】 ・参加市町村数が少ない</p> <p>・コロナ禍においても社会教育を止めないために、開催方法を検討し今後も実施していく</p>

内容	研修名	日時	会場	内容	講師名	参加人数	満足度	成果	課題と今後の方向性
(2) 放課後子ども教室推進事業及び放課後児童クラブ推進事業に係る資質向上研修 ①新・放課後子ども総合プラン推進事業に係る資質向上研修	防災対策研修	令和4年7月4日 令和4年7月6日 令和4年7月8日	中部会場:高知青少年の家 西部会場:四万十市立文化センター 東部会場:安田町文化センター	◆講義:「災害に備えて(人権と心のケア)」 ◆演習:様々な立場に立って避難所で困ることについてのグループワーク	講師:高知県教育委員会事務局人権教育・児童生徒課 専門企画員(専門力向上 児童生徒支援担当) 島内 奈香 氏 チーフ (人権教育担当) 吉岡 佳代 氏	106名	97%	【新・放課後子ども総合プラン推進事業】 【資質向上研修】 (各テーマ共通) ・オンデマンド配信を昨年度から継続して行った。QRコードの活用によりURLの入力を省くことで、視聴者の負担が減った。 ・感染対策を徹底することにより、グループ協議等の具体的な内容に取り組むことができた。	【新・放課後子ども総合プラン推進事業】 【資質向上研修】 ・現場に沿った内容の研修を行うために、現場視察等を通して、ニーズを吸い上げる。 ・オンデマンド配信のニーズはあるが、アンケートの提出のあった市町村に偏りがあることから、市町村ヒアリング等を通じて周知していく。
	実践発表会	令和4年10月4日 令和4年10月6日 令和4年10月7日	東部会場:高知県立青少年センター 中部会場:須崎市立市民文化会館 西部会場:黒潮町役場	◆実践発表:「放課後児童クラブ・放課後子ども教室の実践発表を通し、事業所運営の工夫などを共有し支援員等の資質向上を図る」	香美市香長児童クラブ 波多野 若菜 氏(東部会場) 四万十町学童保育うり坊クラブ 清水 亜矢子 氏、 田邊 育代 氏(中部会場) 土佐清水小にこにこクラブ 江口 睦美 氏(西部会場)	105名	100%	・参加申込みの際にニーズを把握することで、実態に沿った研修を行うことができた。	・防災に比べ、防犯に対する意識は低い。開設場所によっては学校より、危険性があることから、継続して防犯に関する研修会を行う必要があると考えられる。 ・令和6年度から、放課後児童クラブにおける安全マニュアルが必須化になることから、研修会で周知を徹底していく。 ・研修に参加する市町村が偏る傾向にあることから、ヒアリング等で周知していく。
	防災対策研修・オンデマンド配信	令和4年8月1日～ 9月16日		◆講義:「災害に備えて(人権と心のケア)」	講師:高知県教育委員会事務局人権教育・児童生徒課 専門企画員(専門力向上 児童生徒支援担当) 島内 奈香 氏 チーフ (人権教育担当) 吉岡 佳代 氏	アンケート提出者 54名	100%	【放課後児童支援員認定資格研修】 ・放課後児童クラブに配置が必要となる放課後児童支援員の資格を付与する。 ・受講者数(うち修了者数) R3:67(62)→R4:58(52(予定)) ・R3より、今後従事を希望する者も含めての募集に変更した。 【子育て支援員研修】 ・補助員として勤務する際に必要な知識の習得。 ・放課後児童支援員認定資格研修の受講要件に該当しなくても受講可能。	【放課後児童支援員認定資格研修】 ・市町村担当者ヒアリングでは「人材が不足しており、一部の職員に負担がかかっている。」「研修を受けたくても受講要件を満たさない職員がいる。」等の意見があった。 ・次年度以降も開催することに加え、人材確保に向けた市町村への支援も継続して行っていく。 ・新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては開催方法の変更が必要になるが、「市町村条例で配置が求められる資格者の養成」という性質上、可能な限り集合形式で実施する。 【子育て支援員研修】 ・保育や教育関係への従事経験がない者でも放課後児童クラブに従事することができるため、資質に差が生じている。
	発達障害への理解に関する研修	(第1回) 令和4年11月4日 令和4年11月8日 令和4年11月10日 (第2回) 令和4年12月2日 令和4年12月6日 令和4年12月9日	東部会場:高知県立青少年センター 中部会場:高知青少年の家 西部会場:四万十市立文化センター 東部会場:高知県立青少年センター 中部会場:高知青少年の家 西部会場:四万十市立文化センター	講義:「子どもたちのかかわりの中で大切にしたいこと～特別な支援を必要とする児童の理解と対応～」 ◆演習:見方を変える練習を行いながらの個人思考、ワークシートを活用してのグループによる情報共有 ※第1回の内容は、特別な支援を必要とする児童の「理解と対応」を中心に、第2回の内容は、約一か月の実践を通しての「グループでの報告」を中心にしました。	講師:高知県教育委員会事務局特別支援教育課 チーフ 岳本 由美 氏 指導主事 光森 枝里 氏 指導主事 弘瀬 千秋 氏	第1回129名 第2回118名	第1回 100% 第2回 99%	・修了者数 R3:50名→R4:76名	・年度当初から市町村へ周知を行い、従事して間もない職員を中心に受講を推奨していく。 ・今後も開催時期の状況によりオンライン研修を取り入れるなど、臨機応変に対応していく。

内容	研修名	日時	会場	内容	講師名	参加人数	満足度	成果	課題と今後の方向性
① 放課後児童健全育成事業及び放課後児童クラブ推進事業に係る ① 放課後児童健全育成事業及び放課後児童クラブ推進事業に係る	発達障害への理解に関する研修・オンデマンド配信	和4年12月19日～ 令和5年2月10日		講義:「子どもたちのかかわりの中で大切にしたいこと～特別な支援を必要とする児童の理解と対応～」	講師:高知県教育委員会事務局特別支援教育課 指導主事 光森 枝里 氏				
	防犯対策研修会	令和5年1月12日 令和5年1月17日 令和5年1月27日	東部会場:高知県立青少年センター 中部会場:須崎市立市民文化会館 東部会場:黒潮町役場	◆演習:「現状の防犯対策について」 ◆講演:「防犯に関する講和」	講師:高知県警察本部生活安全部少年課少年サポートセンター 副所長 亀岡 正太 氏 高知県警察本部生活安全部生活安全企画課地域安全対策推進担当課長補佐兼企画担当課長補佐 山川 智子 氏	125名	99%		
② 放課後児童支援員認定資格研修	放課後児童支援員認定資格研修	令和4年10月2日 令和4年11月6日 令和4年11月27日 令和4年12月18日	高知県立高知青少年の家	「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準」(平成26年厚生労働省令第63号)に基づく、児童クラブに従事する放課後児童支援員として、必要最低限の知識及び技能の習得とそれを実践する際の基本的な考え方や心得を認識することを目的とした講義等を、1日あたり4科目(1科目90分)、計4日間、1回実施。	NPO法人日本放課後児童指導員協会(委託)	58名			
③ 子育て支援員研修 放課後児童コース	子育て支援員研修 放課後児童コース	令和4年9月3日 令和4年9月4日	高知県立高知青少年の家	地域において子育て支援の仕事に関心を持ち、放課後児童クラブ等に従事することを希望する者に対し、多様な子育て支援分野に関して必要となる知識や技能等を修得するため、これらの支援の担い手となる子育て支援員の資質の確保を図ることを目的とした講義等を、1日あたり3科目(1科目90分)、計2日間実施。	岡山大学 教育推進機構 准教授 中山 芳一 氏	76名			

内容	研修名	日時	会場	内容	講師名	参加人数	満足度	成果	課題と今後の方向性	
③ 「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」を活用した家庭支援を行うファシリテーター養成研修会		基礎編:令和4年9月16日 活用編:令和4年9月30日 実践編:令和4年10月7日	高知県立高知青少年センター 高知県立高知青少年の家 高知県立高知青少年の家	『子どもの心を開くコミュニケーションの仕方を学ぶ』体験型講演会 講義とロールプレイによる体験学習 プログラムの概要、プログラム体験	講師:NPO法人ハートフルコミュニケーション代表理事 菅原 裕子 氏	申込者9名、認定者8名	98%	【家庭教育支援基盤形成事業】 ・17市町村 ・家庭教育支援チーム:7市町村(須崎市、宿毛市、四万十市、馬路村、土佐町、日高村、田野町)	【家庭教育支援基盤形成事業】 ・補助金活用市町村の固定化 ・文部科学省が示す「家庭教育支援チーム」によるアウトリーチ型支援を行う市町村数が伸び悩んでいる。 →未申請の市町村に対する周知とともに、現在活用している市町村に対しても、不安や悩みを抱える家庭へのアウトリーチ型支援に向けた働きかけを行う。	
	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」体験研修会	令和5年2月22日	東部:高知県立青少年センター	参加者によるファシリテーター体験・演習(アイスブレイク、プログラム)	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター				・「親プロ」活用講座 過去3年間と本年度の成果 回数 参加者 ファシリテーター派遣 R1 20回 536名 33名 R2 7回 76名 9名 R3 7回 109名 7名 R4 13回 155名 15名 (1月現在)	・派遣するファシリテーターが固定しないよう、ファシリテーターのスキルを向上するための工夫が必要。 ・新型コロナウイルス感染症の対策を講じた講座の開催
		令和5年2月27日	中部:高知県立高知青少年の家							
		令和5年3月3日	西部:大方あかつき館							
	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」を活用した講座	令和4年6月2日	高石保育園	子どもへの関わり方	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター	14名		-		
		令和4年6月21日	四万十窪川子育て支援センター	子どもは生き生きしている?						
		令和4年6月23日	子育て支援センター「ママン」	子育てのイライラとうまく付き合う親になろう						
		令和4年6月23日	認定こども園たのの	子どもの規範意識ってどうやって育てるの?						
		令和4年6月23日	認定こども園ごぼく	子どものトラブルについて一緒に考えよう						
		令和4年6月29日	地域子育て支援センター「おひさま」	子育てのイライラとうまく付き合う親になろう						
令和4年7月9日		青少年センター	体験のススメ!いろいろなことにチャレンジしよう!							
令和4年8月27日		青少年センター	体験のススメ!いろいろなことにチャレンジしよう!							
令和4年9月29日		ぐりぐらひろば	親への接し方・子育てアドバイス							
令和4年11月15日		下ノ加江保育園	早寝早起き朝ごはん、元気もりもり大作戦!							
令和4年11月18日	大方くじら保育所	子育てのイライラとうまく付き合う親になろう								
令和4年11月19日	宿毛幼稚園	子どもの規範意識ってどうやって育てるの?								
令和5年1月10日	認定こども園たのの大正十和子育て支援センター	子どもは生き生きしている?								
「高知家の早寝早起き朝ごはんフォーラム2022」	①令和4年12月11日 ②令和5年1月22日	①高知市中央公園 ②オーテピア4階 オンライン	②-1実践発表 『みなおそう せいかつリズム』 ～はやね・はやおき・あさごはん+1(なんでもおてつだい)～ ②-2講演 演題『生活の基本は食育から』 ②-3JA高知県お米の話	②-1越知町立越知幼稚園PTA ②-2講師 服部 幸應氏 学校法人服部学園 服部栄養専門学校理事長・校長/医学博士/和食親善大使 ②-3高知県農業協同組合 米穀課 お米アドバイザー 西岡彰夫氏	①約2,500人 ②会場79人 オンライン15人	-	-	-		
⑤ 「学習相談・学習支援」検討会	「学習相談・学習支援」検討会	令和4年12月2日	塩見記念青少年プラザ3F 会議室	「地域における学びを通じたステップアップ支援促進事業」の事業内容説明及び実施状況 高等学校卒業程度認定試験について→高知県の現状・若者サポートステーション利用者実施状況 各市町村の生活保護受給世帯数について 意見交換→学習相談・学習支援に関する具体的方策・高等学校卒業程度認定試験・支援対象者の誘導・高校中退から就労に至るまでの間に必要な支援・支援における関係機関の連携・事業成果の評価検証 など	若者サポートステーション相談支援員等	5名		【地域における学びを通じたステップアップ支援促進事業】 ・参加者(7名[当課事務局2名含む]) 教育委員会事務局高等学校課1名 県子ども・福祉政策部地域福祉政策課1名 同子ども家庭課1名 各若者サポートステーション2名 ・各若者サポートステーションによる支援状況の理解促進と各課の事業展開における連携を図ることができた。 ・10月末実績(若者サポートステーション) 前年度末在籍利用者94 77名 新規登録者49 51名 学習相談 961件、実人数 101名 学習支援 280件、実人数 29名 アウトリーチ 122件、実人数 37件 就労 25名(正規2、非正規 20、職業訓練3) 修学 5名(進学4、復学0、高卒認定1)	【地域における学びを通じたステップアップ支援促進事業】 ・出席者増に向けた慎重な日程調整 ・学校から中途退学者情報を収集する「若者はばたけネット」の周知活動を継続 ・他課より紹介のあった支援制度を有効活用 ・次年度においても、労働、福祉部局等との連携・協働する推進体制の構築に努めるため、年1回、実施する方向	

令和4年度 コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）推進事業実績報告

1. コミュニティ・スクール推進事業費補助金

【目的】 域内全小中学校に学校運営協議会を設置する

補助率：国 1/3 県 1/3 市町村 1/3

【補助金活用市町村】 南国市・室戸市・土佐市・芸西村

2. 推進体制の構築

(1) コミュニティ・スクールの導入推進に向けて管理職等への研修会の実施

「地域と共にある学校づくり研修会」（参加者 128名）

【期日】 令和4年8月2日（火）

【会場】 参集（高知会館）及びオンライン研修

【内容】・実践発表Ⅰ：山口県萩市教育委員会

・実践発表Ⅱ：高知市立春野中学校

・グループ協議（わが町・わが校のCSの課題解決に向けて）

(2) 生涯学習課と連携した市町村教育委員会への訪問

【目的】 コミュニティ・スクールの準備・導入状況の聞き取り

【実施】 9～11月

【訪問先】 27市町村

3. 令和4年度コミュニティ・スクール導入校（導入済み42校、予定2校、計44校）

	市町村名	小学校名	中学校名
東部	室戸市（2）	佐喜浜	佐喜浜
	田野町（2） 予定	田野	田野
	馬路村（4）	馬路・魚梁瀬	馬路・魚梁瀬
中部	南国市（4）	大湊・国府	香長・北陵
	大豊町（1）	大豊学園	
	大川村（1）	大川小中	
	いの町（4）	吾北・長沢	吾北・本川
	須崎市（2）	浦ノ内	浦ノ内
西部	四万十市（2）	中筋・西土佐	
	土佐清水市（7）	下ノ加江・幡陽・足摺岬 清水・三崎・下川口	清水
	大月町（2）	大月	大月
	宿毛市（2）	平田	宿毛
高知市（11）	江ノ口・第四小・潮江南 鴨田・鏡・春野東・春野西	朝倉・旭・鏡・春野	

高知県内のコミュニティ・スクールの導入状況

※R4は予定も含む

指定年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
累計	6校	8校	15校	23校	33校	39校	42校	50校	61校	70校	110校	151校

令和5年度 コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）推進事業計画

1. コミュニティ・スクール推進事業費補助金
【目的】域内全小中学校に学校運営協議会を設置する
補助率：国1/3 県1/3 市町村1/3
【補助金活用予定市町村】南国市・四万十町
2. コミュニティ・スクールの導入推進に向けての研修会の実施
【期日】令和5年8月上旬予定
【会場】高知会館及びオンライン
【対象】管理職、教諭、市町村教育委員会担当者
※オンラインにより校内研修等への活用も可能
3. 令和5年度コミュニティ・スクール導入予定校（110校）

	市町村名	小学校名	中学校名
東部	室戸市（7）	室戸・元・吉良川・羽根	室戸・吉良川・羽根
	安芸市（7）	下山・伊尾木・川北・井ノ口 土居・安芸第一・穴内・	
	芸西村（2）	芸西	芸西
中部	南国市（5）	稲生・三和・大篠・十市 日章	
	土佐市（12）	宇佐・新居・高石・高岡第一 高岡第二・蓮池・波介 北原・戸波	土佐南・高岡・戸波
	須崎市（8）	多ノ郷・南・須崎・新荘 上分	南・須崎・上分
	四万十町（4）	仁井田・七里・十川・昭和	
	組合（1）	加茂小・中	
西部	四万十市（15）	下田・竹島・藤岡・大用 利岡・中村南・東山・中村 八束・具同・東中筋	下田・大用・中村・中村西
	宿毛市（6）	大島・咸陽・沖の島	片島・沖の島・東
高知市（43校）	江陽・昭和・はりまや橋 初月・小高坂・一ツ橋・秦 第六・旭東・泉野・久重 布師田・一宮・一宮東・三里 十津・長浜・浦戸・五台山 高須・朝倉第二・朝倉・旭 横内・大津・潮江・潮江東 神田・横浜・横浜新町 介良潮見台・介良	城東・城北・城西・一宮 三里・南海・青柳・大津 西部・横浜・介良	

令和4年度 コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)導入予定

	市町村名	令和4年度 学校数	(R4・ 12月 現在) 学校 運営 協議 会 導入済	R4年度	R5年度	R6年度 以降	備考
				学校運営協議会の設置 予定・検討			
1	東洋町	4	4	4	4	4	
2	室戸市	9	2	2	9	9	
3	奈半利町	2	2	2	2	2	
4	北川村	2	2	2	2	2	
5	馬路村	4	4	4	4	4	
6	田野町	2	0	2	2	2	
7	安田町	2	2	2	2	2	
8	安芸市	10	1	1	8	9	安芸中：R6 (清水ヶ丘中と 合併のため)
9	芸西村	2	0	0	2	2	
10	香南市	11	11	11	11	11	
11	香美市	10	10	10	10	10	
12	南国市	17	12	12	17	17	
13	大豊町	1	1	1	1	1	
14	本山町	3	3	3	3	3	
15	土佐町	2	2	2	2	2	
16	天川村	1	1	1	1	1	
17	いの町	12	12	12	12	12	
18	仁淀川町	5	5	5	5	5	
19	土佐市	12	0	0	12	12	
20	須崎市	13	5	5	13	13	
21	日高村	3	3	3	3	3	
22	佐川町	6	6	6	6	6	
23	越知町	2	2	2	2	2	
24	津野町	5	5	5	5	5	
25	構原町	2	2	2	2	2	
26	中土佐町	5	5	5	5	5	
27	四万十町	15	2	2	5	8	東又小と興津小 は合併でR6に 窪川小、田野々 小、川口小、中 学校は未定
28	日高佐川学校組合	2	0	0	2	2	
29	黒潮町	10	10	10	10	10	
30	四万十市	18	3	3	18	18	
31	三原村	2	2	2	2	2	
32	土佐清水市	7	7	7	7	7	
33	大月町	2	2	2	2	2	
34	宿毛市	14	8	8	14	14	
35	高知市	58	15	15	58	58	
	合計	275	151	153	263	267	

54.9%

55.6%

95.6%

97.1%

	設置済み市町村
	R5以降設置予定市町村

令和5年度 コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）推進事業（案）

小中学校課

[小中課資料4]

事業概要

平成29年4月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正され、これまで任意であった学校運営協議会の設置が努力義務となったことを受け、各市町村(学校組合)教育委員会に対し、所管の小中学校への学校運営協議会の設置に関する効果的な支援を行うことで、学校と地域の連携・協働による教育活動の充実を図り、「地域とともにある学校づくり」を推進する。

期待される効果

- 保護者や地域住民等が学校運営に参画することで、地域全体で子どもたちを見守り育てる体制が構築され、教員が子どもとしっかり向き合う時間の確保につながるなど、学校と地域との協働体制が確立される。
- 地域住民を中心に人材の発掘・確保につながり、地域学校協働本部等との一体的な推進により学校の教育活動及び体制の充実につながる。

現状・課題

○本県でコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)導入率は52.7%(275校中145校)であり、地域学校協働本部整備を導入している学校の割合(96.4%)に対して低い。

【コミュニティ・スクール導入校数】(令和4年8月現在)

・小学校:90校、中学校:51校、義務教育学校:2校

○コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)導入状況

・「運営協議会の設置済及び2022年度中に設置予定・検討と回答した学校数」 253校(92.0%)

・「運営協議会の設置済及び2023年度中に設置予定・検討と回答した学校数」 270校(98.2%)

(「2022年度コミュニティ・スクール及び地域学校協働活動実施状況調査について」文部科学省調査より)

事業目標

○2023(令和5)年度までに全ての市町村(学校組合)教育委員会において、管内の小中学校にコミュニティ・スクールが導入される。

○地域学校協働本部等との協働による学校運営の工夫・改善の実践を県内に広く普及する。

【検証方法】「コミュニティ・スクール及び地域学校協働活動実施状況調査について」(文部科学省調査)

実施内容

(1) コミュニティ・スクール推進事業費補助金

目的: 域内全小中学校に学校運営協議会を設置する
補助率: 国1/3 県1/3 市町村1/3

* 補助対象

- ①コミュニティ・スクール推進協議会の設置等経費
- ②コミュニティ・スクールの運営や学校種間調整、分野横断的な活動の総合調整など総括的な立場で調整等行う人材(CSディレクター)経費
- ③先進校視察や研修会等の実施にかかる経費

(2) 他課、高知市との連携による推進体制の構築

生涯学習課・高等学校課・幼保支援課・高知市等

◆コミュニティ・スクールの導入推進に向けて管理職及び教職員等への研修会の実施(1回)

◇設置に関する計画・立案

◆市町村担当者への説明会の実施(オンライン)

・コミュニティ・スクール未導入の市町村への情報発信・周知

◆指導主事等訪問

◆各研修会や協議会等への相互参加(随時)、各課合同担当者会の実施(年間6回)

R1 人材育成・設置計画

R2 人材育成・体制整備

R3 全市町村で導入あるいは導入の検討

R5 全ての小中学校に導入

市町村教育委員会

- 協議会の設置
- 委員の任命
- 適正な運営を確保

意見を反映
意見

学校運営協議会

地域学校協働本部等

コミュニティ・スクール
(学校運営協議会制度を導入した学校)

(委員) 保護者代表・地域住民、地域学校協働活動推進員など

学校運営協議会
学校運営や必要な支援に関する協議

コーディネーター

一体的な推進

・地域ぐるみで子供の育ちを支援するしくみ

地域学校協働活動

- ・校長のリーダーシップを応援
- ・地域のニーズに応える学校づくり

放課後等学習支援



地域学校協働活動推進員

全ての学校で地域とともにある学校づくりを展開

令和4年度コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）推進事業
「地域とともにある学校づくり」 研修会開催要項

1 趣 旨

「地域とともにある学校づくり」の一層の推進と充実をめざし、コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）について、その必要性や具体的な事例を講話や演習等を通して学び、導入促進や効果的な運営につなげる。

2 主 催 高知県教育委員会

3 日時・会場 日時：令和4年8月2日（火） 13：30～16：30
会場：高知会館〔白鳳・飛鳥〕（高知市本町5-6-42 ☎088-823-7123）

4 参加対象 ア 県内小・中・義務教育学校管理職・教諭等（県立中学校も含む）＊希望者
イ 市町村（学校組合）教育委員会関係者 ＊希望者
＊定員100名を越える場合は、オンラインでの参加になる場合があります。ご了承ください。

5 日程及び内容

13:15	13:30	13:40	14:40	14:50	15:40	16:25	16:30
受付	開 会 行 事	行政 説明	実践発表Ⅰ	休憩	実践発表Ⅱ	グループ協議	閉 会 行 事

◇実践発表Ⅰ 「社会総がかりによる 次世代を担うひとづくりをめざして
～コミュニティ・スクールの仕組みを基盤としたライフキャリア教育の推進～」
山口県萩市教育委員会 学校教育課長 山根 昌浩 氏
山口県萩市立須佐中学校長 山下 恵美 氏
山口県萩市地域おこし協力隊 和泉 宏 氏

◇実践発表Ⅱ 「持続可能な地域とともにある学校づくり」
高知市立春野中学校長 小川 真悟 氏

6 旅 費

参加対象の ア につきましては、配当外で旅費の支給をいたしますので、下記コードにて旅行命令簿を作成してください。

（略科目コード）421 → （事業内訳コード）0607 → （補足コード）3241

7 参加申し込み

参加者については、市町村（学校組合）教育委員会が別紙参加申込書に取りまとめのうえ、令和4年7月22日（金）までに小中学校課に電子媒体で提出してください。

県立中学校の参加者については、別紙参加申込書を直接、小中学校課に電子媒体で提出してください。

8 その他

- ・当日は、マスクの着用をお願いいたします。また、発熱・咳等の症状がみられる方は、参加をお控えください。
- ・新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、人数に制限をさせていただくことや会の持ち方等が変更になる場合がございます。ご了承ください。
- ・会場の駐車場は限りがあります。できるだけ乗り合わせでお越しいただくか、公共交通機関をご利用ください。
- ・当日オンラインで参加することもできます。（グループ協議を除く）

オンライン参加の場合、次の ZOOM ミーティング URL 等にてご入室ください。

ミーティングリンク

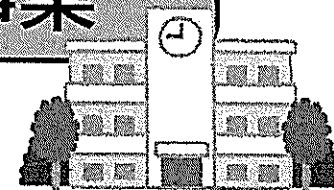
<https://zoom.us/j/91936660526?pwd=YnJGNWxHdTNRM0hJcHY4Q0pEOE45UT09>

ミーティング ID: 919 3666 0526

パスコード: 73S9f7

令和4年度 高知県スクールヘルスリーダー派遣事業

派遣期間: 令和4年5月1日～令和5年2月28日



計24校にスクールヘルスリーダー14名を派遣

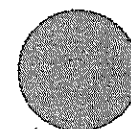
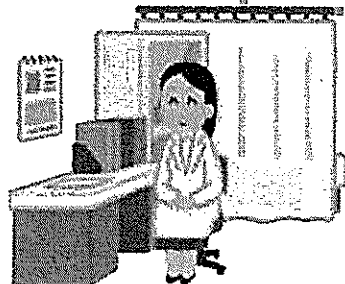
未配置校 ……11校

令和4年10月までの派遣実績: 92回

経験の浅い養護教諭配置校 ……13校

令和4年10月までの派遣実績: 79回

※講師配置校は未配置校と位置付ける



令和4年度スクールヘルスリーダー活動内容

(※令和4年10月分までの実績報告より)

※活動回数が多かった順に記載

1 健康観察

2 その他

教材作成、指導助言、お便り作成 等

3 保健指導・健康教育

感染症予防、歯科保健、性に関する指導、生活習慣病の予防、ゲーム・メディアとの付き合い方 等

4 環境衛生(感染症対応含む)

5 健康相談

6 関係者との連携

7 救急処置

熱中症対応、修学旅行・遠足・体育祭等での対応

8 健康診断

健診後のフォロー、事務処理 等

9 スポーツ振興センター事務処理



成果と課題

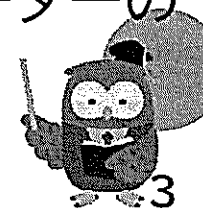
(※経験の浅い養護教諭自己評価シート、第2回スクールヘルスリーダー連絡協議会結果等より)

【成果】

- 経験の浅い養護教諭が自信を持って執務にあたれるようになった
- ケース対応や校内での連携に対する経験の浅い養護教諭の困難感が軽減した
- 養護教諭として全教職員を動かす力がついてきた
- 学校にいないではない養護教諭に成長している
- 児童の健康への関心が向上している
- 緊急時の体制をより良くしていくきっかけ作りにつながった 等

【課題】

- 4月当初からの派遣が困難であること
- 予算によって派遣回数が増やせないことがある
- 限られた派遣回数の中での活動の充実
- 派遣校での教職員との連携
- 最新の知見や情報を得ることができるような、スクールヘルスリーダーの資質向上の機会の確保
- 退職から間もないスクールヘルスリーダーの人材確保



令和5年度 高知県スクールヘルスリーダー派遣事業について

実施スケジュール(予定)

3月下旬頃

↓ 派遣事業の実施要項を各県立学校及び各市町村(学校組合)教育委員会へ送付

4月上旬頃

↓ 派遣学校の決定

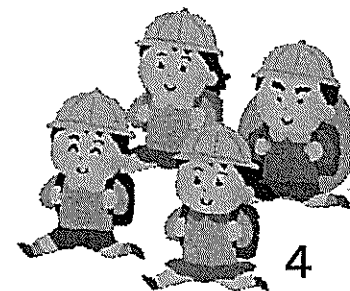
5月から

↓ 派遣開始

6月下旬から7月上旬

第1回高知県スクールヘルスリーダー連絡協議会を開催

※文部科学省において、SHL事業が新規事業に移行する予定であるため、スケジュールが変更になる可能性あり。



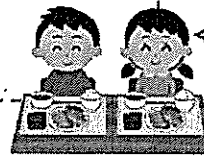
令和4年度食育推進支援事業(食事提供活動支援事業)実施状況

<事業目的> 望ましい生活習慣の基礎となる朝食摂取を推進し、児童生徒の実践する力を育成するために、学校と地域等が連携した家庭へのアプローチや地域を巻き込んだ取組を行い、ボランティアによる食事提供活動の充実を図る。

市町村	学校	実施団体	実施予定回数等
香美市	大栃小学校	物部地域学校協働本部	2回/年
	大栃中学校		2回/年
高知市	潮江南小学校	潮江南地域連合会	<ul style="list-style-type: none"> ●平日(登校日)朝食提供 ●夏季休業中(平日学習室開放日のみ)昼食提供 ●冬季休業中(平日学習室開放日のみ)昼食提供

<食事提供の例>

- 大栃小中学校
 ・ごはん ・鮭の塩焼き ・玉子焼き ・サラダ ・みそ汁
 ・のり ・ヨーグルト



食材の一部が
学校給食会から
現物支給

成果と課題

< 成果 >

- ◇児童生徒・教職員が、バランスよく朝ごはんを食べると1日のスタートがしっかりとされるときということを実感できるいい機会となっている。
- ◇郷土料理等の伝統食に関することや、食事のマナーなどを学ぶ「食育」としての機能も果たしている。
- ◇厳しい環境にあり、1人で食事をする機会が多い子どもたちが、集団で食事をすることの楽しさを体感することができている。

< 課題 >

- ◆円滑な運営のために、実施団体が学校から協力を得ることが難しい場合がある。
- ◆実施団体の確保や、地域の方の協力を得ることが難しく、新たに本事業の活用を希望する学校が少ない。

令和5年度事業計画について

◆実施スケジュール

- 4月初旬頃:各市町村(学校組合)教育委員会に応募要領を送付
- 5月中旬頃:実施団体の選定
- 6月初旬頃:事業開始

- ◆学校のみでなく、各地域の食生活改善推進員(ヘルスマイト)にも本事業について周知し、協力の得られる実施団体の確保につなげる。

市町村名	地域学校協働活動						新・放課後子ども総合プラン(小学校)		家庭教育 支援事業	外部人材を活用 した教育 支援活動事業
	本部数	実施学校数					児童 クラブ	子ども教室		
		小学校	中学校	義務教育 学校	高校	その他 (小・高)				
1 室戸市	6	5	4			1	2	4		
2 安芸市	10	8	2				5	9		
3 南園市	17	13	4				17	3		
4 土佐市	11	9	3				6	7	○	
5 須崎市	10	8	5				6	5	○	
6 宿毛市	11	8	6				3	5	○	
7 土佐清水市	1	6	1				1	6	○	
8 四万十市	15	13	5				15	7	○	
9 香南市	9	7	4				12	3		
10 香美市	9	7	3			1	10	3	○	○
11 東洋町	1	2	2			2		1		
12 奈半利町	1	1	1			1	1	1		
13 田野町	1	1	1			1		1	○	
14 安田町	1	1	1			1		2		
15 北川村	1	1	1					1	○	
16 馬路村	1	2	2					1	○	
17 芸西村	1	1	1			2	1	1		
18 本山町	1	2	1				1	2		
19 大豊町	1			1				3		
20 土佐町	1	1	1					1	○	
21 大川村	1			1				1	○	
22 いの町	8	7	5				8	2	○	
23 仁淀川町	1	3	2					3	○	
24 中土佐町	3	3	2			1	1	2		
25 佐川町	5	4	2				3	3		
26 越知町	1	1	1				1		○	
27 梶原町	1	1	1					1		
28 日高村	1	2	1				1	2	○	
29 津野町	2	3	2			2		3	○	
30 四万十町	15	12	3				1	12		
31 大月町	1	1	1					1	○	
32 三原村	1	1	1					1		
33 黒潮町	1	8	2					4		
34 学校組合	(1)	(1)	(1)				1			
35 高知市	37(48)	29	6(11)	2			90	41		
36 県立	9				9					
事業実施 合計	196	171	77	4	9	12	186	142	17	1
合計	(208)	(172)	(89)	4	9	12	186	142	17	1

※地域学校協働活動の()内の数字は、高知市版地域学校協働本部実施校11校及び一財対応の学校組合2校を含む。

令和5年度高知県地域学校協働活動推進委員会及び研修会等の年間事業計画

1. 事業の総合的なねらい

地域住民等の参画による地域の実情に応じた取組を有機的に組み合わせて、学校に対する多様な協力活動や、学習活動等を通じて地域のつながり・絆を強化し、地域の活性化を図る取組、放課後等に子どもたちの安全・安心な活動場所を確保して学習や様々な体験・交流活動の機会を提供する放課後等支援、また保護者への学習機会の提供や相談対応などの家庭教育支援等を実施し、子どもたちの社会性・自主性・創造性等の豊かな人間性を涵養するとともに、地域社会全体の教育力の向上を図り、地域の活性化や子どもが安心して暮らせる環境づくりを推進する。

2. 重点取組

- (1) 市町村担当者、地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）、学習支援員、協働活動支援員、協働活動サポーター、特別支援・共生サポーター、放課後児童支援員等の資質向上を目的とした各種の研修会を開催し、情報交換・共有の場とする。
- (2) 各教育事務所及び高知市に配置している学校地域連携推進担当指導主事とともに、コミュニティ・スクールや地域学校協働本部の設置促進と活動内容の充実を図る。
- (3) 子どもたちの見守り機能をさらに発揮するため、より多く、より幅広い層の地域住民や団体等に、きめ細かく密接に学校に関わっていただく形をつくるなど、学校と地域がパートナーとして子どもたちを見守り育てる高知県版地域学校協働本部の取組を推進する。
- (4) 「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」の普及・啓発を図るとともに、ファシリテーターを養成する研修会を実施する。
- (5) 事業実施市町村へのヒアリングやアンケート等により、事業の効果や課題について調査を行い、事業を検証するとともに、市町村が実施する運営委員会や研修会に参加し、円滑な事業運営を支援する。
- (6) 若者サポートステーションの修学・就労支援により、高等学校未卒の若者（20歳から39歳及び市在住の15歳から19歳）の社会的自立を推進する。

3. 事業計画

(1) 推進委員会

時期	内 容
10月中旬	・令和4年度実績報告 ・令和5年度中間報告 等
1月下旬～ 2月上旬	・令和5年度事業報告 ・令和6年度事業計画 等

(2) 研修会等

①全体研修

時期	内 容
6～7月	高知県地域学校協働活動研修会（全体研修会） ・講演、実践発表、意見交換 等

未定	高知県地域学校協働活動研修会（ブロック別研修会） ※西部・中部・東部・高知市 ・実践発表、意見交換 等
6～12月 （予定）	地域コーディネーター研修会 ※3会場で各2回（西部・中部・東部） ・講演、ワークショップ、意見交換等
1月	高知県社会教育実践交流会 ・記念講演、インタビュー・ダイアログ、実践発表 等

②新・放課後子ども総合プラン推進事業に係る支援員等研修

■新・放課後子ども総合プラン推進事業に係る資質向上研修 ※東部、中部、西部地区別に開催

- ・防犯（6月）
- ・実践発表会（10月）
- ・子どもの発達障害等の理解促進研修会（12月）
- ・安全・防災（1月）

※時宜を得た研修の必要性が生じた場合は、テーマの変更または追加で1テーマ実施

■放課後児童支援員認定資格研修（10月～12月）

- ・年1回（1回あたり16科目24時間、計4日間の連続講座）

■子育て支援員研修 放課後児童コース（9月）

- ・年1回（6科目9時間、計2日間の連続講座）

③「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」を活用した家庭教育支援を行うファシリテーター養成研修会及び講座の開催

- ・段階的なファシリテーター養成（基礎編・活用編・実践編）
- ・保育所や地域子育て支援センター等での講座の開催…ファシリテーター認定者の派遣

④「高知家の早寝早起き朝ごはんフォーラム2023」の開催

子供たちの基本的な生活習慣の維持・向上、定着の重要性を伝え、地域一丸となった取組をより一層促進させるために「高知家の早寝早起き朝ごはんフォーラム2023」実施予定

⑤「『学習相談・学習支援』検討会」の開催

- ・若者サポートステーションについての理解促進（支援状況等）
- ・教育委員会や福祉部局、労働関係部局等との連携・協働する推進体制の構築に努める

(3) その他

・高知県版地域学校協働本部への展開に向けた実施校における取組

3要件①充実した地域学校協働活動の実施

②学校と地域との定期的な協議の場の確保

③民生・児童委員の参画による見守り体制の強化

・県小中学校長会や県民生委員・児童委員協議会連合会総会、社会教育関係団体等との協力支援体制の強化や地域学校協働本部実践ハンドブックや事例集等の活用により、地域学校協働本部の活動の充実、質の向上に取り組む

・地域学校協働本部事業及び新・放課後子ども総合プラン推進事業（放課後子ども教室、放課後児童クラブ）に関する取組状況調査の実施（7～9月頃）

市町村名	地域学校協働活動						新・放課後子ども総合プラン(小学校)		家庭教育 支援事業
	本部数	実施学校数					児童 クラブ	子ども教室	
小学校		中学校	義務教育 学校	高校	その他 (幼・保)				
1 室戸市	6	5	4			1	2	4	
2 安芸市	10	8	2				5	9	
3 南国市	17	13	4				18	3	
4 土佐市	11	9	3				6	7	○
5 須崎市	10	8	5				6	5	○
6 宿毛市	11	8	6				3	5	○
7 土佐清水市	1	6	1				1	6	○
8 四万十市	15	13	5				15	8	○
9 香南市	9	7	4				12	3	
10 香美市	9	7	3			1	10	3	○
11 東洋町	1	2	2			2		1	
12 奈半利町	1	1	1			1	1	1	
13 田野町	1	1	1			1		1	○
14 安田町	1	1	1			1		2	
15 北川村	1	1	1			1		1	○
16 馬路村	1	2	2					1	○
17 芸西村	1	1	1			2	1	1	○
18 本山町	1	2	1				1	2	
19 大豊町	1			1				3	
20 土佐町	1	1	1					1	○
21 大川村	1			1				1	○
22 いの町	8	7	5				8	3	○
23 仁淀川町	1	3	2					3	○
24 中土佐町	3	3	2			1	1	2	
25 佐川町	5	4	2				3	3	
26 越知町	1	1	1				1		○
27 檜原町	1	1	1					1	
28 日高村	1	2	1				1	2	○
29 津野町	2	3	2			2		3	○
30 四万十町	15	12	3				1	12	
31 大月町	1	1	1					1	○
32 三原村	1	1	1					1	
33 黒潮町	1	8	2					4	
34 学校組合	(1)	(1)	(1)				1		
35 高知市	47(54)	35	10(7)	2			90	41	
36 県立	9				9				
事業実施予定 合計	206	177	81	4	9	13	187	144	18
合計	(214)	(178)	(89)	4	9	13	187	144	18

※地域学校協働活動の()内の数字は、高知市版地域学校協働本部実施校7校及び一財対応の学校組合2校を含む。

NPO法人高知県生涯学習支援センター（学び場人材バンク）事業報告

【出前講座申込・開催状況の推移】

年度	出前講座申込数	出前講座開催回数	夏季(7~8月)出前講座 申込数	夏季(7~8月)出前講座 開催回数
2018	213	202	176	165
2019	274	215	251	213
2020	145	102	110	89
2021	149	109	127	95
2022(4~12月)	167	113	145	99

【令和4年度出前講座実施状況及び参加者数】

参加者（延べ人数） 令和4年12月31日現在

参加小学生数	参加支援員数	参加保護者等	その他参加者	計
2,854	461	177	39	3,531

講師データ(職種別延べ人数)

令和4年12月31日現在

高校生	大学生	現職教員	退職教員	塾講師	その他	企業	団体	合計
0	0	6	14	0	87	5	35	147

講座別実施回数

令和4年12月31日現在

ものづくり									
ミニチュアガーデン②	石けんクラフト	ジェルキャンドル作り	植木鉢風りん	森林学習と木工作	森林学習とペン立て作り	オリジナルフォトフレーム作り	貝殻のクラフト(1)	ペットボトルロケット飛ばし	ハーバリウム作り2
7	6	5	5	5	4	3	3	3	3
ものづくり									
新聞エコバッグ作り	プラ板キーホルダー作り	木の突の工作2【クラフト】	巨大シャボン玉作り	ペットボトルで工作	磁器絵付け【マグカップ】	竹とんぼ作り	浮沈子（ふちゃんし）作り	似顔絵・四コマ漫画・絵本作り	森林学習と写真立て作り
3	2	2	2	2	2	2	1	1	1
体験									
五連発輪ゴム鉄砲作り	ストーンアート	木育と木のペンダント作り	リース作り	けん玉教室	音遊び	早押しクイズ	ネイチャーゲーム	バドミントン教室	思いやりの魔法
1	1	1	1	4	4	2	1	1	1
学ぶ									
みやもっち体育	3日体操	十六ミリ映画会	血液の話	新聞を使った学習	地震のはなし【防災学習】	マンガ教室	エコ学習(エコライフゲーム)	絵手紙	手話教室
1	1	3	3	3	2	2	2	1	1
学ぶ									
お金の話	マジックショー	マジックショーandマジック教室							
1	9	5							

満足度（出前講座報告書：アンケートより集計・・・回収率63.7%）

令和4年12月31日現在

~60%	61~70%	71~80%	81~90%	91~100%
0	0	7	25	40

【個人講師(居住地別)の各市町村における講座実施回数】

令和4年12月31日現在

開催地 講師 居住地	室戸市	安芸市	香南市	香美市	東洋町	奈半利町	田野町	安田町	北川村	馬路村	雲西村	南国市	土佐市	須崎市	本山町	大豊町	土佐町	大川村	いの町	仁淀川町	中土佐町	佐川町	越知町	梶原町	日高村	津野町	四万十町	宿毛市	土佐清水市	四万十市	大月町	三原村	黒潮町	高知市	計		
室戸市																																				0	
安芸市																																					0
香南市																																					0
香美市				1								2	1						2	3																9	
東洋町																																				0	
奈半利町																																					0
田野町																																					0
安田町																																					0
北川村																																					0
馬路村																																					0
雲西村																																					0
南国市			1									1																								2	
土佐市			1	1									2	1																1						6	
須崎市														2	1							1														1	
本山町																																					0
大豊町																																					0
土佐町																																					0
大川村																																					0
いの町																																					0
仁淀川町																																					0
中土佐町																																					0
佐川町																																					0
越知町																																					0
梶原町																																					0
日高村																																					0
津野町																																					0
四万十町																																					0
宿毛市																																					0
土佐清水市																														1							1
四万十市																																					0
大月町																																					0
三原村																																					0
黒潮町																																					0
高知市		2	16	7		1	1	2				12	1	8	2	3		2	2	2	1				3		4							2	71		
計	0	2	18	9	0	1	1	2	0	0	0	15	1	11	3	3	0	2	4	5	2	0	0	0	3	0	4	1	1	0	0	0	0	2	90		

第2回 高知県地域学校協働活動推進委員会

高知県地域ぐるみ学校安全体制整備推進事業

資料



提供：高知県スクールガード・リーダー連絡協議会 元会長 山下正和 氏

学校安全対策課

目次

地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業の概要	1
高知県地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業費補助金	2
令和4年度 スクールガード・リーダー名簿	3
高知県地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業の報告	4
令和4年度 市町村担当者会 開催要項	6
(参考) 事業に係る取組等	7

地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業

令和4年度要求額 338百万円
(前年度予算額 338百万円)



文部科学省

学校、通学路の安全確保に向け、昨今の児童生徒の尊い命を奪う交通事故・事件の発生も踏まえ、スクールガード・リーダー増員による見守りの充実や、スクールガード等のボランティアの養成・資質向上を促進することにより、警察や保護者、PTA等との連携の下で見守り体制の一層の強化を図る。

■実施主体:都道府県及び市町村 ■補助率:国庫補助率1/3、都道府県・市町村各1/3 ※市町村直接実施の場合2/3負担

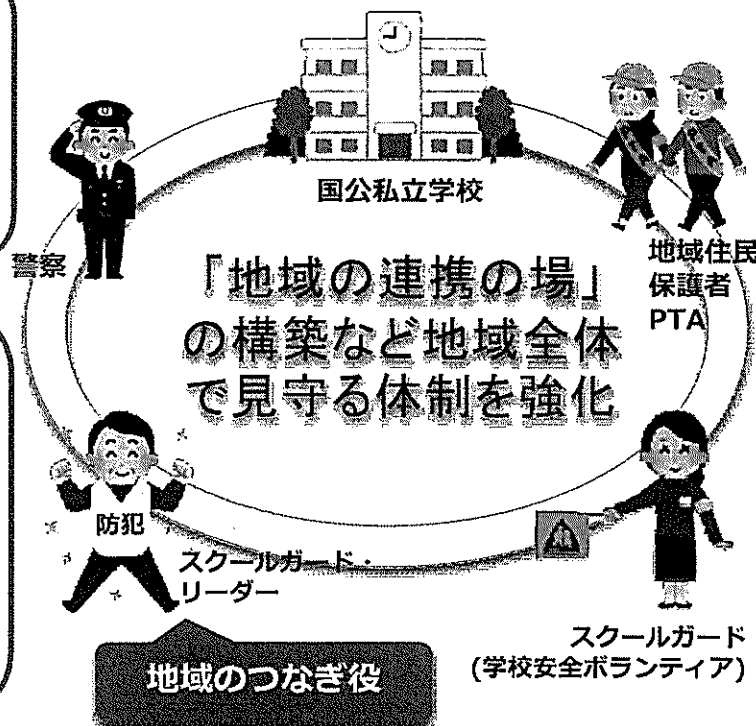
スクールガード・リーダーの育成支援

- スクールガード・リーダーの資質を備えた人材（警察官OB・教職員OB・防犯協会役員等）に対する育成講習会の実施

スクールガード・リーダーに対する活動支援

- スクールガード・リーダーによる指導、見守り活動に対する謝金、各学校を定期的に巡回するための旅費等の補助
- 学校等の巡回活動等を円滑にするためにスクールガード・リーダーの連絡会等の開催を支援、装備品の充実

スクールガード・リーダー育成講習会、スクールガード養成講習会の開催に係る経費を補助し、見守りの人材確保と質の向上



スクールガード（ボランティア）の養成・資質向上

- 通学路で子供たちを見守るスクールガードの防犯に対する知識、非常時の対応策等を身に付けさせるための養成講習会を実施
- 活動の参考となる資料を配布することによる見守りの質の向上

スクールガード増員による見守りの強化及び活動に対する支援

- 「登下校防犯プラン」等に基づく、登下校時のパトロールや地域の連携の場構築など防犯活動への支援
- 子供の見守り活動に係る帽子や腕章などの消耗品費、ボランティア保険料の補助

スクールガード・リーダーがスクールガードに対して、見守り活動・警備上のポイントや不審者対応等について指導・助言

地域ぐるみで子供の安全を守る体制構築

高知県地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業費補助金

補助率：国・県・市町村各1/3 * 中核市除く市町村が対象 市町村による直接実施の場合は、国1/3・市町村2/3

◎ 次の①～③の事業を単独実施でも複数実施でも可

事業名	事業内容	補助対象経費	経費に係る留意事項	4年度の状況
① スクールガード・リーダーによる巡回指導と評価等	<ul style="list-style-type: none"> 警察官OBや教職員OB、地域安全活動の中心として活動している者等をスクールガード・リーダーとして委嘱する。 スクールガード・リーダーは、各学校を定期的に巡回し、警備のポイント、改善すべき点などの指導と評価や、スクールガード(学校安全ボランティア)に対する指導等を行う。 スクールガード・リーダーの配置人数、対象とする範囲については、各地域の実情に応じて決めることができるが、小学校5校に対して1名程度の割合を原則とする。 なお、巡回指導等の対象校については、幼稚園、保育所、中学校、特別支援学校等も対象とすることができる。 	報償費	<p>【スクールガード・リーダーの巡回指導経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> 報償費のみ。1日2時間以上の活動、5千円を上限とする。 スクールガード・リーダーの活動日数については、年間120日以内とする。 	<ul style="list-style-type: none"> 21市町村で実施 スクールガード・リーダー39名に委嘱 <p>室戸市、安芸市、東洋町、奈半利町、北川村、安田町、芸西村、香南市、南国市、大豊町、土佐市、須崎市、日高村、梶原町、四万十町、四万十市、土佐清水市、宿毛市、黒潮町、三原村、大月町</p>
② スクールガード養成講習会	<ul style="list-style-type: none"> 学校や通学路で子どもたちを見守るスクールガードを養成するための講習会を開催する。 なお、開催に当たっては、多くの方々が参加することができるよう、開催場所、開催回数等に配慮するものとする。 	報償費(講師謝金)、旅費、使用料及び賃借料(会場借上料)、需用費(印刷製本費、消耗品費)、役務費(通信運搬費)	<p>【スクールガード養成講習会の開催経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> スクールガード養成講習会の開催経費については、10万円を上限とする。 ただし、スクールガードに対する報償費、旅費は対象外とする。 	<ul style="list-style-type: none"> 安芸市で実施 (新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催中止。)
③ 学校安全活動	<ul style="list-style-type: none"> 学校安全のために、学校安全ボランティア等を活用しつつ、例えば、登下校時におけるパトロール、防犯・防災訓練の実施、地域安全マップの作成等、学校・家庭・地域が一体となり子どもの安全に関する取組を実施する。 	報償費(講師謝金)、旅費、使用料及び賃借料(会場借上料)、需用費(印刷製本費、消耗品費)、役務費(通信運搬費)	<p>【学校安全活動経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校安全活動経費については、活動に直接必要な経費とし、1市町村につき30万円を上限とする。 スクールガード・リーダーの装備品(防刃ベスト等)やスクールガード・リーダーの連絡会等の開催に係る経費は、対象とする。 ただし、スクールガードに対する報償費及び旅費は、原則として対象外とする。 なお、消耗品費等については、学校やPTAが使用するものと明確に区別すること。 備品購入費は、対象外とする。 	<ul style="list-style-type: none"> 芸西村・香美市・南国市・土佐市・日高村で実施

◎ スクールガード(学校安全ボランティア)組織が未設置の学校は、特に、上記②③の事業を活用した取組の検討をお願いします。

《お問い合わせ先》高知県教育委員会事務局 学校安全対策課 学校安全担当 TEL 088-821-4533

令和4年度 高知県地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業 スクールガード・リーダー名簿

No.	担当地域 (市町村等)	氏名	登録 年度	巡回等 学校数		拠点校(部署)	巡回担当予定校(園)	教育委員会
				小学	中学校			担当部署
1	室戸市	中野 金夫	H18	4	2	室戸市 教育研究所	佐喜浜小、室戸小、 佐喜浜中、室戸中	室戸市教育委員会 学校保育課
2		栗尾 博義	H19	5	3		元小、吉良川小、羽根小、吉良川中、羽 根中	
3	安芸市	清岡 豊	H30	4	2	安芸市 少年育成 センター	川北小、土居小 清水ヶ丘中、安芸中	安芸市 少年育成センター
4		小松 孝臣	H25	3	3		下山小、伊尾木小 井ノ口小	
5		吉田 博幸	H31	3	3		赤野小、穴内小 安芸第一小	
6	東洋町	生田 幹明	H23	2	1	野根小学校	野根小 野根中	東洋町教育委員会
7		光本 速雄	R2	2	1	甲浦小学校	甲浦小 甲浦中	
8	奈半利町	能勢 幸利	H22	1	1	奈半利町 教育委員会	奈半利小	奈半利町教育委員会
9	北川村	牛窓 雅人	R3	2	1	北川村 教育委員会	北川小 北川中	北川村教育委員会
10	安田町	南 久雄	R2	2	1	安田町 教育委員会	安田小 安田中	安田町教育委員会
11	芸西村	山下 茂正	R3	4	1	芸西村 教育委員会	芸西小、芸西中、 芸西幼稚園、芸西保育所、	芸西村教育委員会
12	香南市	野村 清	H21	5	3	香南市 教育委員会	佐古小、香我美小、夜須小、 夜須中、香我美中	香南市教育委員会 学校教育課
13		内藤 雅廣	R3	6	4		赤岡小、野市小、野市東小、 吉川小、赤岡中、野市中	
14	南園市	比江森 信子	R2	5	5	南園市 教育委員会	岡豊小、久礼田小、園府小、 白木谷小、茶路小	南園市教育委員会 学校教育課
15		谷口 省文	H24	4	4		後免野田小、長岡小、日章小、 大湊小	
16		田中 晋	H27	4	4		大塚小、三和小、福生小、 十市小	
17	大豊町	都築 清	新	1	1	大豊町 教育委員会	大豊学園(義務教育学校)	大豊町教育委員会 入づくり班
18	土佐市	中川 守	H30	6	4	土佐市 少年育成 センター	土佐南中、新居小、高石小、高岡第一 小、高岡中、宇佐小	土佐市 少年育成センター
19		矢野 泰幸	H30	6	5		高岡第二小、蓮池小、波介小、北原小、 戸波小、戸波中	
20	須崎市	津野 正男	H18	7	4	多ノ郷小学校	南小、多ノ郷小、香桑小、浦ノ内小 南中、浦ノ内中、朝ヶ丘中	須崎市教育委員会 学校教育課
21		谷脇 秀幸	R3	6	4	須崎小学校	上分小、新荘小、安和小、須崎小 上分中、須崎中	
22	日高村	山下 忠一	H21	5	3	日高村教育委員会 教育支援室	加茂小、日下小、能津小 日高中、加茂中	日高村教育委員会 教育支援室
23	橘原町	今井 久光	R2	2	1	橘原学園	橘原小 橘原中	橘原町教育委員会 生涯学習課
24	四万十町	樋口 寛	R2	4	4	四万十町 少年補導 センター	東又小、影野小、仁井田小、奥津小	四万十町教育委員会 生涯学習課
25		有馬 義行	H19	4	4		川口小、窪川小、七里小、米奥小	
26		田邊 幹男	H29	4	4		田野々小、昭和小、十川小、 北ノ川小	
27	四万十市	酒井 敏	R2	4	3	具岡小学校	具岡小、中筋小、東中筋小 中村西中	四万十市教育委員会 学校教育課
28		林 正秋	H30	5	4	中村南小学校	中村南小、竹島小、下田小、 八栗小、下田中	
29		土居 佳伸	H20	2	1	西土佐小学校	西土佐小、西土佐中	
30		森下 眞道	H23	4	3	栗山小学校	栗山小、大用小、藤岡小、大用中	
31		武田 弘一	H27	3	2	中村小学校	中村小、利岡小 中村中	
32	土佐清水市	秋本 茂	R1	3	2	土佐清水市 少年補導 センター	清水小、足指碑小 清水中	土佐清水市 少年補導センター
33		安岡 孝利	R1	4	4		三崎小、曙陽小、下川口小、 下ノ加江小	
34	宿毛市	嵐 健	H26	4	4	宿毛市 青少年育成 センター	宿毛小、橋上小、平田小、 山梨小	宿毛市教育委員会 学校教育課
35		小松 太	H23	4	4		宿毛小、大島小、感陽小、 小筑紫小	
36	黒潮町	大石 正幸	H19	4	3	黒潮町 こどもサポ ートセン ター	琴ノ川小、伊与喜小、佐賀小 佐賀中	黒潮町教育委員会 生涯学習課
37		國友 積	H28	6	5		上川口小、高郷小、入野小、 三浦小、田ノ口小、大方中	
38	三原村	榎 喜章	H30	2	1	三原村 教育委員会	三原小 三原中	三原村教育委員会 学校教育課
39	大月町	吉岡 利昌	R1	2	1	大月小学校	大月小 大月中	大月町教育委員会
21市町村		計 39人		148	110			

高知県地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業

学校安全対策課

事業目的

子供たちが安全で安心して教育を受けられるよう、学校や通学路における子供の安全を確保するため、学校、家庭及び地域の関係機関・団体が連携を図り、地域社会全体で見守り活動を中心とした学校安全に取り組む体制を整備する。

事業内容

- (1) スクールガード・リーダーによる巡回指導等の実施
- (2) スクールガード（学校安全ボランティア）養成講習会の開催
- (3) 学校安全活動の実施

令和4年度の実績（R4.10.19現在）

○高知県地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業 市町村担当者会の開催

- ・日時：令和4年5月12日（木） オーテピア高知図書館 4階 ホール
- ・目的：地域全体で学校の安全に取り組む体制を整備するため、スクールガード・リーダーの活動内容等について、事業の趣旨の共有及び情報交換を行い、活動の充実を図る。

○「スクールガード・リーダーの活動内容リーフレット（学校安全対策課作成）」を各リーダーに送付

○「登下校見守り活動ハンドブック（文部科学省）」を各市町村に配付

○学期末毎に、事業実施市町村から提出される「スクールガード・リーダー活動報告書（写し）」からリーダーの活動内容を把握、必要に応じて市町村に聞き取り



※年度末に、事業実施各市町村から「実績報告書」の提出があり、実績及び成果と課題を確認する予定

これまでの成果と課題（市町村実績報告書より）

【成果】

〔スクールガード・リーダーによる巡回指導等の実施〕

- ・児童の登下校時における校区内の巡回・見守り活動等の安全指導を行い、地域全体で学校安全に取り組む体制を整えることができた。校区内の保護者や地域住民による見守り隊と連携を図りながら、見守り時の注意点についての指導を行うことができた。
- ・学校と地教委とスクールガード・リーダー（School Guard Leader 以下「SGL」）が連携しながら児童生徒の見守り活動を行うことができた。SGLから登下校中の児童生徒の様子や通学路の状況、見守り時の注意点等を情報提供してもらうことで学校での安全指導に活かすことができた。
- ・SGLを中心とした学校内外の巡回や見守り、各学校の交通安全教室等や各種行事への参加によ

り、地域、学校、子どもたちとの信頼関係が築けており、子どもの安心・安全のための地域づくりにつながった。登下校時にSGLが子どもたちに声かけ等を実施したことで、子どもたち自身に、見守ってもらっているという安心感を与えることができた。

- ・ SGLの必要性が学校、地域で認識され、地域による学校見守り活動が充実するとともに、不審者情報の収集に一定の効果が現れている。不審者情報は警察との共有を図っており、不審者事案発生時には連携して巡回に当たるなどの対応が取れている。こうした連携体制のもと、迅速に対応した結果、不審者が特定された案件もあった。

[学校安全活動]

- ・ 各小学校区での児童の見守り、声掛け、挨拶運動、学校行事への協力など、地域の実情に即した幅広い活動を実施することで、地域の見守り活動として定着しつつある。

【課題】

[スクールガード・リーダーによる巡回指導等の実施]

- ・ SGL不在時の児童・生徒の安全確保方策等の検討が必要である。
- ・ SGLと交通安全協会、地域の見守り隊等の見守り活動における役割分担を明確にし、児童の安全を見守る体制の強化につなげることが必要である。
- ・ SGLの人材が不足している。

[学校安全活動]

- ・ 地域に根差した活動を継続するために、新規見守りボランティア会員募集や、会員同士の情報交換や各小中学校と連携した活動内容の充実が課題である。各小中学校区の状況について聞き取り等で把握し、会員と各小中学校が連携した活動につなげていくような体制づくりが必要である。

取組状況調査より

- ・ スクールガード（学校安全ボランティア）等の見守り実施状況（PTAの見守り活動を含む）は、平成26年度以降は小学校において100%となっている。今後は、見守り活動が組織的に行われるよう取り組む必要がある。

今後に向けて

- ・ 「登下校防犯プラン」に基づき、組織的な見守り活動実施や児童生徒の安全確保の強化に向けて、事業未実施市町村に本事業の活用を今後も働きかけていく。特に、地域学校協働活動の見守り活動に係る経費を本事業から補助できることを市町村に周知する。また、SGLの活動に加えてスクールガード（学校安全ボランティア）の養成やながら見守り活動の有用性を改めて周知し、取組が拡充するよう働きかけていく。
- ・ SGLや市町村担当者に見守りの視点をより深く理解していただき、日々の取組に活かせるよう、市町村担当者会等の研修内容を充実させていく。

令和4年度 高知県地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業市町村担当者会 開催要項

1 趣 旨

地域全体で学校の安全に取り組む体制を整備するため、スクールガード・リーダーの活動内容や見守り活動の充実に向けて、事業の趣旨の共有及び情報交換を行い、取組の充実を図る。

2 主 催 高知県教育委員会

3 日 時 令和4年5月12日（木） 13:00～15:00

4 会 場 オーテピア高知図書館 4階 ホール
 （高知市追手筋2-1-1 Tel: 088-823-4946）
 ※会場地図は別紙に記載

5 参加対象 令和4年度高知県地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業
 市町村教育委員会事業担当者

6 日程及び内容

〈日程〉

13:00	13:10	13:30	14:00	14:10	14:20	14:55	15:00
開会	説明 (県教委から)	講話 (県警から)	情報提供 (市町村より)	休憩	グループ協議	閉会	
	(20分)	(30分)	(10分)	(10分)	(35分)		

〈内容〉

- ①説 明 「高知県地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業の趣旨について」
 「スクールガード・リーダーの活動や見守り活動の充実に向けて」
 高知県教育委員会事務局 学校安全対策課
- ②講 話 「不審者情報の状況と見守りのポイント」
 高知県警察本部 生活安全部 人身安全対策課
- ③情報提供 市町村より（日高村・香南市・黒潮町）
- ④グループ協議 2つのテーマについてグループで協議
 （テーマ）
 - ・見守り活動に携わるスクールガード（学校安全ボランティア）を増やすために
 - ・効果的なスクールガード・リーダーの活動にするために
 他

令和4年度 地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業に係る取組

市町村	名称	目的・内容等	人数
南国市	「わんわんパトロール運動」	<p>【目的・内容】</p> <p>児童の登下校時に合わせて、愛犬はバンダナをつけ、飼い主は「見守り中」ということがわかる手提げバックをもって、犬の散歩を行いながら児童の見守り活動を行う。活動の認知を広げるために、児童にステッカーも配布している。</p> <p>「ながら防犯」の活動を通して、犯罪抑止を図るとともに地域ぐるみでの防犯運動の高揚を図る。</p>	<p>南国市内で17家庭22匹が活動 (令和4年度新規登録は、 3家庭3匹) (R4.12.27時点)</p>
香美市	「よってたかって見守り運動」	<p>【目的・内容】</p> <p>日々行っている散歩(犬の散歩を含む)やジョギングを、児童の登下校時に合わせたり、コースを通学路などにしたりして、散歩やジョギングをしながら児童の見守り活動を行う。運動協力者には、「運動登録者証」と「反射ライン付タスキ」を配付している。</p> <p>散歩やジョギングの機会を活用した「ながら見守り活動」を通して、地域みんなで関わり合い、よってたかって「防犯」や「見守りの目」を広げる。</p>	<p>香美市内で20名が登録 (保護者、地域の方、見守り組織「やまびこ会」等) (R4.12.27時点)</p>
香南市	黒潮の子ども応援隊	<p>【令和4年度学校安全表彰 文部科学大臣表彰 学校安全ボランティア活動奨励賞】</p> <p>平成24年の設立以来、学校支援の環境整備・学習支援・安全活動と様々なボランティア活動を実施しており、特に、毎週月曜日の児童の通学時間帯の交通安全街頭見守り活動は10年間継続して行っている。</p> <p>定期的な見守り活動だけでなく、不審者情報等がニュースで取りざたされた際の登下校時の緊急見守りの実施や、通学路における危険箇所の改善を行政に働きかけ、路側帯の白線表示の実現につなげるなど、その活動は多岐にわたる。また、赤岡小学校の交通安全教室や交通安全マップ作り、「みまもりの家」の拡充に協力するなど、赤岡小学校の安全教育にも積極的に参画・協力している。</p> <p>地域の消防団員全てが黒潮の子ども応援隊に登録し、防災教育への支援を行っていることから、児童の安全を確保するための継続的な活動が期待できる。</p>	<p>会員数217名</p>

スクールガード・リーダー活動中です ～子どもたちを守るために～

スクールガード・リーダーは、子どもたちが安全に安心して学校で教育が受けられるよう、学校や通学路における子どもの安全を確保するため、学校の内外を巡回し、学校やスクールガード（学校安全ボランティア）に対する指導助言を行っている方々です。

現在、県内の21市町村において、39名の方がスクールガード・リーダーとして活動されており、担当区域内の小学校などを巡回し、不審者侵入を防ぐための点検、通学路における見守り活動と危険箇所の点検・報告、学校行事における警戒のほか、学校の防犯教室や防犯訓練への参加などの様々な活動を行っています。子どもたちの安全を守るための重要な役割を担っているスクールガード・リーダーの活動へのご理解とご協力をお願いします。



～高知県スクールガード・リーダー連絡協議会 谷口省文 会長(南国市)の活動状況を一部紹介！～

『黒潮の子ども応援隊』(香南市立赤岡小学校)

令和4年度 学校安全ボランティア活動奨励賞 (文部科学大臣表彰) 受賞



1年生の下校見守り



交通安全マップ作りへの参加

香南市立赤岡小学校の「黒潮の子ども応援隊」が、令和4年度「学校安全ボランティア活動奨励賞（文部科学大臣表彰）」を受賞されました。

「黒潮の子ども応援隊」は、平成24年の設立以来、学校支援の環境整備・学習支援・安全活動と様々なボランティア活動に継続して取り組み、平成28年度には「高知県安全安心まちづくり功労団体表彰」を受賞しています。

児童の通学時間帯の交通安全街頭見守り活動だけでなく、不審者情報等がニュースで流れた際の登下校時の緊急見守りの実施や、通学路における危険箇所の改善を行政に働きかけ、路側帯の白線表示の実現につなげるなど、その活動は多岐にわたります。

赤岡小学校の交通安全教室や交通安全マップ作り、「みまもりの家」の拡充に協力するなど、赤岡小学校の安全教育にも積極的に参画・協力し、地域や子どもの安全安心に大きく貢献しています。

日頃より本校児童の登下校や安全のために尽力してくださっている「黒潮の子ども応援隊」の皆様のご取組に対して、このような賞を頂けたことは学校としても大変喜ばしい限りです。

改めて、皆様の活動に感謝申し上げます。

(香南市立赤岡小学校 小杉 龍司 校長先生)

- くらしネットkochi編集・発行者
高知県文化生活スポーツ部 県民生活課
- 安全安心まちづくりニュース編集・発行者
高知県安全安心まちづくり推進会議

- 問い合わせ先
高知県文化生活スポーツ部 県民生活課
〒780-8570 高知市丸の内1丁目2番20号
TEL 088-823-9653(くらしネットkochi) FAX 088-823-9879
088-823-9319(安全安心まちづくり)
E-mail:141601@ken.pref.kochi.lg.jp

オピニオン opinion

しっかりした小1女兒

谷口 省文 74 スクールガードリーダー(南国市稲生)

年末年始の交通安全運動にかかわらず、私たちスクールガードリーダー(21年前、大阪・池田小学校で起きた児童殺傷事件後全国で発足、県内では39人が活動中)は、いつも帽子とベスト姿で旗を手に、小学生の登下校時間帯に、通学路で交通誘導や事件、事故、災害等からの見守り活動を行っている。

交通誘導での私の方針は「人の安全優先」で、車両を通過させた後、児童の横断をさせている。

先日、南国市の後免野田小学校西側歩道へ1人の小1女兒が来た。歩道手前で旗を横にして歩を止めた。南北進行車両を確認すると

停止してくれたので、旗を真上にして女兒と一緒に歩幅で横断した。

直後、女兒が私に「ありがとう」と言って頭を下げ、続けて車両に向かって頭を下げた。その動作に私もつられてごく自然に「ありがとう」の気持ちになり、ドライバーに向かって頭を下げていた。

女兒が示した態度と停止して横断を見守ってくれたドライバーに胸が熱くなった。わずか30秒ほどの出来事。ドライバーの皆さま、横断歩道で児童、歩行者を確認したら、ゆとりある見守り運転、よろしくお願います。

R4.1.1(土)

声ひろば

通学路で会いましょう

藤田 絹代 80 (いの町枝川)

「どうしたか」。日曜日、近所の枝川小学校のお子さんが3人、わが家を訪ねてくださった。

12月の思いもよらないコロナ禍第3波、高知県の感染者が連日2桁に。また新年は水点下となった寒波でさすがの私も、通学路での「朝のあいさつ」を1カ月、休止していた。

南の階段の上の校門までかけ上るお子さんを見守ること25年、世の中の縮図を見ているようなものだった。

厳しい生活を間近に見た日もあった。朝食を食べていないお子さん。校長と話し合い、バイクの荷台ににぎり飯とミネカン、八つ切りリンゴ等を載せて対応し

「だれだ!」と後ろからしのび寄って目かくしをするお子さん。Yくんだけど「分からん」とどほけてみる。自分の家のおばあちゃんのごとく、膝に乗っかって、おそろぎのチューもしてくれましたお子さんもいた。

今は何もかも大変な時、マスクをして離れて歩く。一番の被害者はお子さんたちだ。密になれなくて残念。けれど、収束はきつと来る。もうすぐ節分、そして立春。マスク、手洗い、うがい、3密をきけて、通学路で会いましょう。見守られているのは私だった。